

みなさまの生活に関わる情報をトピックスとしてお伝えしていきます！

地域の治安を守る安心・安全の要！
津島警察署 庁舎建て替えが計画されています

すでに今年の2月から仮庁舎(愛西市佐織支所敷地内)が運用されていますが、今議会で新庁舎建築工事請負契約の締結議案が提出され可決されました。

旧庁舎は昭和47年建築で、当時134人であった署員が、現在では244人に増加しており、建て替えは、その狭隘状況の解消と南海トラフ地震に備えた活動拠点機能を強化することが目的です。

工事期間は令和2年10月～令和4年6月まで、供用開始は令和4年8月予定。滞りなく無事に完成し、みなさまにお披露目されるよう注視していきます。

▼ 新庁舎の仕様概要と外観イメージ

項目	新庁舎	旧庁舎
敷地	5,154㎡(県有地)	
建屋(延床)	4F建て 6,406㎡ ※地下1Fは駐車場	3F建て 1,657㎡ (+別館210㎡)
車庫棟	118㎡	397㎡



● 政策提言書を大村知事へ提出！

新政あいち県議団は、コロナ対策、災害対応の強化、地域経済を支える産業の活性化を柱とし、来年度予算に反映させるべき未来志向の『**令和3年度 施策及び当初予算に対する提言**』をとりまとめ、10月13日に大村知事へ提出しました。

<主な提言内容>

①	新型コロナウイルス感染症対策の強化・推進
②	ICT施策の推進(行政サービス利便性向上など)
③	大規模災害に向けた減災対策・分散避難対策の推進
④	地域医療を支える医師の偏在是正と看護師不足解消
⑤	コロナ禍における雇用維持と新たな雇用創出
⑥	中小企業の人材確保と事業承継の推進
⑦	スタートアップ支援を中心とした新事業創出支援
⑧	児童虐待予防、児童相談センターの体制強化
⑨	良好な教育環境の整備と教員の働き方改革の推進
⑩	交通事故防止対策の推進

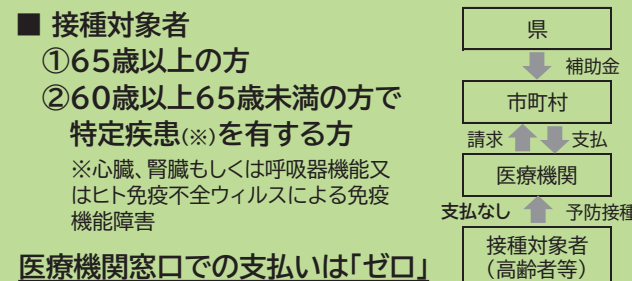
その他「プラスチックごみによる環境問題への取り組み推進」「中部国際空港島周辺の国際観光都市化」なども提言しています。

概要は県議団ホームページをご覧ください！
⇒<http://shinsei-aichi-kengidan.com/>

高齢者の方は自己負担「ゼロ」
インフルエンザ予防接種を受けましょう！

新型コロナウイルスと毎年のインフルエンザが同時に流行した場合の危険性が感染症専門家からも指摘されています。

高齢者に対するインフルエンザワクチンの接種を推進することで、重症化を抑えひいては新型コロナウイルスに対応する医療機関の負担を軽減できます。



市町村による高齢者等へのインフルエンザワクチン定期接種事業の実施が前提です。

予約が必要な場合もあります。接種期間等詳しくはお住まいの市町村役所にご相談ください。

県 政
キーワード

SDGsにつながる
「フードバンク」



フードバンク・・・企業や個人から未利用食品等まだ食べられる食品を集めて、貧困家庭や子ども食堂、要支援団体に提供する活動。ちなみに日本の「**食品ロス**」量は **600万トン超/年間**。国民一人当たりに換算すると“毎日お茶碗1杯分の食べ物”が捨てられていることになるそうです。

8月末に東海地方最大のフードバンク「NPO法人セカンドハーベスト」を視察。

この法人は、約450トン/年間(小売価格換算約2億円超)の食品を配布しています。運営は、行政による郵送費補助を除くと、ほぼ寄附で賄われおり、作業の担い手はみなさんボランティアの方です。

コロナ禍でニーズは高まるものの、ボランティアは高齢の方が多く、感染リスク回避のため活動縮小を余儀なくされるジレンマが、...

昨年10月には「食品ロス削減法」も制定され、自治体にもその活動支援に努力義務が課されました。

フードバンク事業は社会のセーフティーネット。県にはその活動を支援し広げる責務があります。



料金後納

ゆうメール

差出人/返還先(差出発送代行) 6-18
佐川グループロジスティクス(株)
〒485-0075
小牧市三ツ淵惣作1350
佐川急便(株)中京支社内メールセンター
この荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

発行 県議会議員 (あま市・海部郡選出)

おぎそ史人 事務所

〒490-1222
あま市木田八反田 21 コーポエム 1・1-C
Tel/Fax 052-718-7050
E-mail: ogiso_f@yahoo.co.jp
HP URL: <http://ogiso-web.com/>



新政あいち

県議団 県政レポート

2020年 秋号 Vol.6

同封の県政アンケート用紙にご意見をお寄せくださいませ。



1面／愛知県新型コロナウイルス感染症対策推進条例の概要

2面／9月定例議会 質問概要 3面／9月補正予算概要

4面／トピックス (津島警察署建て替え計画 フードバンク etc.)

秋と言えば、「食欲の秋」「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」。夏の厳しい暑さがぐっと和らぎ、身も心も快適に過ごしやすい季節です。

7～8月にかけての新型コロナウイルス感染症拡大も収まりつつある中、インフルエンザが流行る季節をこれから迎え、油断はできませんが、各自の感染症対策をしっかりと実施したうえで、「行楽の秋」も楽しんでいただきたいと思います。

そんな中、愛知県議会9月定例議会が、9/18から10/13までの日程で行われ、新型コロナウイルス感染症への追加対策を中心に総額約805億円の補正予算案と条例制定・一部改正等32議案が上程され、可決成立しました。

今回の補正予算案では、コロナ禍により、当初予定されていた「食育推進全国大会」「ワールドロボサミット・ロボカップアジアパシフィック大会」「技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会」などの県主催各種イベントの中止・延期に伴う約15億円

の減額補正も実施されています。

しかしながら、このコロナ禍の経済情勢の悪化で、当初見込んでいた本年度県税収入も400億円減額し、この減額分は県債(借金)と国による地方交付税で埋め合わせることで何とか財源を確保していますが、来年度は今の経済情勢の影響が本格的に現れ、さらに大幅な減収が予想されます。

かといって、コロナ禍で苦しい思いをしている方も大勢いらっしゃる中、減収を理由に、安心安全な生活がおびやかされる、助けを必要としている人が救われなくなることがあってはなりません。

県がこれまで実施している多岐にわたる各種事業や施策を「あたりまえ」ではなく、県民のみなさまの大切な限られた税金を、いかに効果的効率的に必要な事業や施策に振り向けていくのかという視点で、県当局とも知恵を出し合いこの難局を丸一となって乗り切るべくしっかり活動していきます。

愛知県新型コロナウイルス感染症対策推進条例を制定！ その概要についてお知らせします。

この条例は、新型コロナウイルス感染症のまん延が、県民生活や地域経済に多大な影響を及ぼすことから、**県・県民・事業者の責務**を明らかにするとともに、**県が実施する新型コロナウイルス感染症対策の基本的事項**を定めています。

○ 県の責務

- ・コロナの発生・まん延状況の把握と総合的な対策の推進
- ・県民・事業者に対する知識の普及と適切な情報発信

○ 県民の責務

- ・正しい知識を踏まえた感染予防とまん延防止に努める
- ・県の実施する対策に協力するよう努める

○ 事業者の責務

- ・正しい知識を踏まえた感染予防とまん延防止の措置及び施設への感染防止措置を講じている旨の掲示に努める
- ・県の実施する対策に協力するよう努める

県が実施する感染症対策の基本的な事項

▽ 対策の充実

- ・物資や資材の確保、検査・医療体制の整備、相談対応体制の整備、児童生徒の学習機会の確保等の施策

▽ 県独自の対策本部の設置 (政府対策本部未設置でも)

▽ 県独自の緊急事態宣言 【全国初】

- ・必要な緊急措置は実施すべき期間と区域を明確化

▽ 影響の緩和を図るための支援

- ・県は、講じた対策が県民や事業者に影響を及ぼす場合その影響を緩和するための支援を行うよう努める

その他、高齢者や障害者等要援護者や重症化リスクの高い者への「適切な配慮」と患者やその家族、医療従事者等の人権擁護の条項も盛り込まれています。

9月定例議会 新政あいち県議団 代表質問要旨

質問者: 新政あいち県議団
幹事長 長江正成議員(瀬戸市選挙区)

代表質問① 新型コロナウイルス対策

Q 季節性インフルエンザの流行に備え、外来診療の医療機関をどのように支援していくのか？

知事 発熱患者等を他の患者と分けて外来診療や検査を行う地域の医療機関については、早急に県医師会と協議を進め、対応可能な医療機関を県が指定する。

その体制確保に必要な費用を国が補助する制度が10月中にも開始されるので、外来診療を担う医療機関が安心して患者に対応できるよう積極的に支援していく。



代表質問④ 県立学校のICT整備

Q 現計画での生徒用端末整備では全生徒数に足りないが、今後どのような方針で整備を進めるのか？

教育長 生徒個人所有の端末(スマホやiPad等)を授業で活用するBYOD(bring your own device)を基本に整備を進めていく。

今年度ICTモデル校として県内10校を中心にBYODを試行し、効果と課題を検証した上で、来年度以降の活用を検討していく。

◎ 9月補正予算を含めた端末整備の内容

高等学校 18,000台 (全生徒数:12万人)
※120台/1校 つまり各学年1クラス分

◎ ICTモデル校 10校

守山高校、熱田高校、高蔵寺高校
西春高校、津島高校、豊田南高校
大府高校、幸田高校、刈谷北高校、豊丘高校

代表質問② コロナ専門病院について

Q 開設予定のコロナ専門病院によって県内の入院医療機関への負担軽減をどのように図るのか？

知事 現在の岡崎市立愛知病院を活用したコロナ専門病院を10月15日に開設する。
軽症の高齢者と中等症患者を集中的に受け入れ、主に重症患者を受け入れる大学病院などと役割分担し、医療機関の負担軽減を図っていく。

◎ コロナ専門病院の体制概要

病床数/最大100床 (開設当初 50床)
医師数/最大17人 (開設当初 9人)
看護師数/最大111人 (開設当初 38人)

代表質問③ スタートアップ支援

Q 「スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市」認定を受け、人材の輩出・育成にどう取り組むのか？

知事 起業家予備軍である大学生等を対象とするワークショップ「スタートアップキャンプ」を昨年度より内容を充実させ、9月から開始した。

10月からは新たに、世界トップクラスの経営大学院であるフランスのINSEAD(インシアード)による愛知向けにカスタマイズされた人材育成講座を開始する予定。

<用語解説> スタートアップ・エコシステムとは？

スタートアップは「立ち上げ」、エコシステムは「生態系=環境の集合体」。革新的な商品やサービス等を提供する「起業」や「新規事業の立ち上げ」を取り巻く環境という意味。

農林水産委員会での一般質問要旨

下線太字部分(※1~3)の説明は、次ページ下段をご覧ください。

●「食と緑の基本計画2025」(※1)素案について

Q. コロナ拡大に伴う県農畜水産業への影響と見通しは？

A. 巣ごもり需要で日常的に消費される農畜水産物は高値で推移。イベント中止や冠婚葬祭自粛、外食産業不振により花き、つまもの、牛肉、高級魚は出荷量・額が大きく下落。特に、牛肉と高級魚は厳しい状況が続く見込み。

Q. 新しい生活様式下での消費習慣の変化の捉え方は？

A. 通販サイトの利用拡大が見込まれる。
三密に配慮した生活様式の浸透で、冠婚葬祭や外食は引き続き低迷の可能性。

Q. 県産農畜産物の今後の消費拡大に向けた具体的取組は？

A. 現在、愛知県WEB物産展(※2)を開設し、販路多様化を支援。今後も通販サイト販売を促進するとともに、テイクアウト需要にも応える6次産業化支援に取り組んでいく。

Q. 「いいともあいち運動」(※3)の現状の捉え方は？

A. ネットワーク会員数は現在1,649会員と年々増加。推進店も1,234店舗まで拡大。運動の認知度は2013年度の14.6%から今年度は22.7%と広がりつつある。

コロナの影響を踏まえた取り組みについては、不測の事態による影響を最小限にとどめるような下支えと状況変化への柔軟な対応を求めました。

いいともあいち運動については、いまいち盛り上がり欠けるため、「知ってもらう」と同時に、運動を「深める」会員相互を「つなげる」といった農畜産業関連業者のポテンシャルを高める仕掛けづくりを検討するよう要望しました。

その他、「マーケット・イン」の視点に立った生産・流通の改善については、主体的に市場調査を実施する等、実需者ニーズの的確な把握を強く要望しました。

新政あいち県議団の質問録画は 愛知県議会 で 検索 ぜひ一度ご覧ください！

9月定例議会で可決された主な予算内容は 以下の通りです。

コロナ
対策医療体制をさらに強化します
《予算額 508億2,186万円》

1. PCR検査体制の拡充 (来年1月:1,500件/1日)
◎藤田医科大学でも検査できる体制整備
◎検査試薬の購入 (試薬費:約3,000円/1人)
2. コロナ専門病院の開設 ※2ページ目参照
◎同時に運用に関わる愛知病院条例を制定
3. コロナ患者、疑い患者受け入れ医療機関の支援
◎受け入れのための空床病床分の確保料支援
◎高度医療設備(血液浄化装置等)の導入支援
4. 高齢者インフルエンザワクチン接種の費用助成 ※4ページ目参照

コロナ
対策感染防止対策等を支援します
《予算額 16億6,634万円》

1. 以下の事業者が実施した感染防止対策の補助
・あん摩、鍼灸等の施術所 (上限10万円)
・宿泊事業者 (上限200万円 ※但し補助率2/3)
・愛環鉄道等の鉄軌道事業者 (補助率1/2)
2. 路線バス事業者に対して支援金を交付
◎バス運行に要する経費 10万円/1台につき
3. 企業等への高機能換気設備の導入を支援
◎対象施設:産業・業務用施設
(工場、事務所、ホテル、店舗等)
◎補助率:大企業 1/2、中小個人 2/3
◎補助限度額:1,000万円以内

コロナ
対策教育環境を充実します
《予算額 55億2,429万円》

1. 県立学校トイレの床乾式化や便器の洋式化整備
◎高等学校:50校 特別支援学校:10校
2. 肢体不自由特別支援学校のスクールバス購入
◎4校5台 (リフト付き中型バス)
3. 県立学校のICT環境の整備 ※2ページ目参照
◎すべてのクラスに大型提示装置を整備
◎オンライン授業対応としての通信回線を整備
4. 児童生徒の「心のサポート体制」を強化
◎スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの追加配置
◎全県立高等学校にSNS相談体制を整備 (相談時間:平日17時~22時)
5. その他
◎文化部活動のコロナ感染予防対策への支援
◎県立、私立学校の修学旅行キャンセル料支援

コロナ
対策生活の「安心」をサポートします
《予算額 60億7,295万円》

1. 避難所等の感染防止資機材等の整備を補助
◎補助上限額 : 資機材整備 6,000万円
(1市町村あたり) その他事業 3,000万円
2. その他
◎収入減少世帯への貸付事業を拡大
◎自殺防止! SNS相談体制の整備

その他
事業

1. 農林水産業者の販売促進や消費支援
◎愛知県WEB物産展を3月末まで延長
◎学校給食に「ウナギ、ニジマス、シラス」を提供
2. 県内1泊以上旅行等の割引を引き続き推進
◎LOVEあいちキャンペーンを2月末まで延長
割引率:商品の1/2相当分(最大1万円/1回)
3. 交通安全施設の整備強化
◎信号のLED化 : 84か所 521本
◎標識・標示の更新: 462本 50km

※1 食と緑の基本計画2025

人口減少、社会のデジタル化、経済のグローバル化、地球規模での気候変動、SDGsの達成など社会情勢の変化を踏まえ、食と緑に関わる

- ①人材確保と生産性の向上
- ②持続可能な農林水産業・農山漁村の実現

を重視し、その実現に必要な具体的施策を落とし込んだ5か年計画。

※2 愛知県WEB物産展

コロナ禍で売上の減少等経営が悪化している県内農林水産業や観光関連産業を支援するため、愛知県が開設した通販サイト。

- ◎割引キャンペーン期間中は3割引!
- ◎送料無料!
- 「楽天市場」内に特設ページを開設中

<https://event.rakuten.co.jp/area/aichi/exhibition/>

※3 いいともあいち運動

生産者と消費者が農林水産業の応援団として一緒になって盛り上げようという愛知県版地産地消の運動。

- 平成10年から始まり、「食と緑の基本計画2025」内でも、認知度28%を目指している。



シンボルマーク「あいまるくん」